

# 地域社会・国際社会のために

地域社会・国際社会との共存共栄をめざした、さまざまな社会貢献活動を推進しています。

## 社会貢献活動

良き企業市民として地域や社会と調和すること、それは富士通グループの重要な行動目標です。The FUJITSU Wayの目標に則り、良き企業市民として国際社会・地域社会との共存共栄を図っていきます。また、IT企業としての特色を活かした社会貢献活動を実施していきます。

### 学術・教育の振興、国際交流

#### 日米経営科学研究所( JAIMS )

環太平洋諸国のビジネスパーソンの相互理解の向上を図るため、ハワイ州教育局認可の非営利教育法人として1972年に設立しました。日米を中心としたマネジメントの思想と手法について教育と研究を行っています。

#### 財団法人情報処理教育研修助成財団( FINIPED )

情報処理に関する国内外の人材育成の支援を目的に、1972年に設立しました。民間各界約130社の会員賛助のもと、JAIMS並びに国内・海外の大学で教育・研修を受ける学生への援助事業などを行っています。

#### 数学オリンピック財団への活動支援

数学オリンピック財団の活動を支援し、数学的創造性を活かして将来の社会の発展を担う貴重な人材の発掘・育成に寄与しています。数学オリンピック財団は、国際数学オリンピック大会への日本代表選手の選抜、派遣に関わる事業を展開しています。



数学オリンピック( 2004年度 )

#### 富士通アジア・パシフィック奨学金制度

1985年に富士通創立50周年を機に設立した、アジア太平洋諸国の学生・ビジネスパーソンを対象とした奨学金制度です。日米中の経営、文化を学習し、異なる価値観への理解を深める機会を提供することを目的としています。

### 文化・芸術活動

#### 文化・芸術・スポーツへの協賛活動

##### 音楽公演

富士通コンサートシリーズ

富士通コンコード・ジャズ・フェスティバルなど

##### スポーツ

富士通レディースゴルフトーナメント など

##### 囲碁・将棋

世界囲碁選手権 富士通杯

富士通杯達人戦 など

#### 川崎フロンターレの活動を支援

川崎市をホームタウンとする川崎フロンターレは、1999年にJリーグに加盟し、プロサッカー事業の展開、地域の青少年の育成やスポーツ文化発展に貢献する活動に取り組んでいます。



© KAWASAKI FRONTALE 2005

#### 「スマトラ沖大地震およびインド洋津波」の被災者支援

2004年12月26日に発生したスマトラ沖大地震およびインド洋津波は、被災した各国で多くの方が亡くなられる観測史上最大規模の災害となり、多方面から支援が寄せられました。

富士通グループでは、海外現地法人を含む富士通グループとして支援活動を実施したほか、社員からの募金を含めた義援金・義援物資を被災国政府・自治体・日本赤十字社などに寄付しました。

#### ウェブサイト上でチャリティーを実施

ニフティ(株)では、新潟県中越地震およびスマトラ沖地震の被災者支援として、チャリティーコンテンツを開設しました。風景画像やアマチュア写真家よりご提供いただいた写真を、@niftyの決済サービス「@pay」を利用して販売。約1万件の売上金全額とニフティからの加算支援金を、それぞれ被災地域の救援活動を展開する新潟県共同募金会(2004年12月)と財団法人日本ユニセフ協会(2005年3月)にお届けしました。

## 地域での社会貢献事例

### 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」に参画

(株)富士通では、富山県教育委員会が主催する「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」に参画しています。2004年10月には地域の中学生4名を5日間受け入れ、職場体験を通じて、社会生活のルールや計画的に取り組むことの大切さなどを体験していただきました。



データ作成を体験

### 聴覚障害者団体を支援

(株)富士通インフォソフトテクノロジーでは、行政主催の「聴覚障害者向けIT講習会」や、学校や公的機関の講演会などへの講師派遣のほか、聴覚障害者団体のウェブサイト開設支援などを行っています。



聴覚障害者向けIT講習会で、講師が手話で説明

2004年10月には、2003年

静岡で開催された「わかふじ大会(障害者国体)」における静岡聴覚障害者協会主催の手話ボランティア養成講座、聴覚障害者福祉推進活動に対し、静岡県聴覚障害者協会から表彰を受けました。

## 環境社会貢献への取り組み

富士通グループは、地球環境の大切さを認識し、豊かな自然を次の世代に引き継ぐことができるよう、すべての組織と社員一人ひとりが環境社会貢献活動の推進に努めています。

### 海外植林活動を実施

1997年から東南アジアを中心とした熱帯林再生への支援を実施しています。

2005年からは、第4次海外植林として、第3次に引き続きマレーシア・サバ州森林開発公社の管理地キナルー地区での植林を開始。原生種フタバガキ種を復活させるプロジェクトを、3力年にわたって実施していきます。

このプロジェクトの特徴は、国際協力機構( JICA )、財団法人 国際緑化推進センターの支援を受け、富士通グループの社員からの寄付による資金で、社員ボランティアが実際に現地へ赴き、植林作業を行うことです。2005年1月には41名のボランティア社員が参加し、傾斜面で2,643本のフタバガキを植林しました。同地を再び訪れた参加者は3年前に植えた木々が順調に育っているのを見て感慨深い様子でした。



海外植林活動

同地区の森林は近隣の教育・研究機関からも利用され、学術的にも注目されています。また、マレーシア国内や日本などから「エコ・ツアー」を受け入れ、植林体験ツアーも実施。富士通グループは、生態系の回復とともに経済的な循環も視野に入れ、今後も支援を継続していく方針です。

また、タイでは、Fujitsu( Thailand ) Co., Ltd. が植林活動を継続しています。2004年からの第4次プロジェクトでは、80万m<sup>2</sup>の広さに8万本の植林を実施するなど規模を拡大しています。

#### エコ・ツアー

もともとある自然や文化への影響を極力抑える旅行形態。

## 各地域での環境貢献活動

全国の支社・支店における環境マネジメントシステム( EMS )のサイト活動において、地域貢献活動を環境目標と設定。地域との共存共栄をめざして推進していきます。

### 美化活動を実施

( 富士通長野工場 )

富士通長野工場では、1997年から草刈りとごみ収集による地域での美化活動を実施しています。2001年度からは隣接する信州大学附属長野中学校の生徒と合同で開催し、2004年6月には社員149名と生徒57名で5つの町で作業をし、総量65kgを回収しました。



長野工場清掃活動  
( 附属中学駅前 )

### 植林活動を実施

(( 株 富士通南九州システムエンジニアリング )

( 株 )富士通南九州システムエンジニアリングでは、労働組合と連携して、2004年から阿蘇外輪山の一面で植林活動を開始。近隣の西原村および( 財 )グリーンストックと共同で取り組み、社員とその家族や他のボランティアにより、4月に約200名が植樹、9月には約100名が下草刈りを実施しました。



植林活動  
( 2005年4月 )

2005年4月の植樹

には2004年度よりも多い1220名が参加。今後も、九州の水瓶、希少な動・植物を守る活動を継続していきます。

### 環境教育を実施

( Fujitsu Computer Products Corporation of the Philippines )

Fujitsu Computer Products Corporation of the Philippinesは、環境関連の教育に関心の高い近隣の私立校 Rizal Institute of Canlubangで、2005年3月に

環境教育を実施しました。

企業での環境配慮の実例展示や絵画コンテスト、シンポジウムを通じて、学生の皆さんに環境保全への興味をさらに高めていただくことができました。



環境教育( e-learning )

### 「環境リーダー育成研修会」を開催

社員一人ひとりが環境活動に一層の関心をもち、これまで以上に率先して環境に配慮した行動ができるよう、2005年2月にEMS活動の一環として「第1回富士通環境リーダー育成研修会」を開催しました。

研修会は、各サイト( 拠点 )の環境社会貢献活動を牽引するリーダーの育成を目的としており、社員20名が参加して環境社会貢献活動をより体系的に実施するノウハウなどを学びました。

日本最大規模のNPOである( 財 )日本野鳥の会と連携し、2泊3日で実施したこの研修会では、神奈川県横浜市の上郷森の家およびその近隣の森林で、バードウォッチングや落ち葉かきなど自然とのふれあい体験と、実際の環境社会貢献活動に向けた企画・立案演習を行いました。



自然とのふれあい体験



環境社会貢献活動企画・立案演習

参加者からは「研修を通して環境社会貢献活動に対する個人の思いの大切さを実感できた。この思いを今後の環境社会貢献活動に役立てたい」といった感想が寄せられました。

富士通ではこの研修会を今後も継続して開催していきます。

その他の活動事例についてはFUJITSUホームページでご紹介しています。

<http://jp.fujitsu.com/about/eco/>